

平和学習



毎年暑い夏がやってくるたび、私たちは過去の過ちについてふり返り、平和な未来を創造するために学び続けなければなりません。

DVD視聴及び学習内容

1・2年

いわたくんちのおばあちゃん

3・4年

ぞうのいないどうぶつえん

5・6年

朝日新聞「知る沖縄戦」「知る原爆」



1-1 写真は加工して掲載しています



2-1 写真は加工して掲載しています



3-1 写真は加工して掲載しています



4-1 写真は加工して掲載しています



4-2 写真は加工して掲載しています



5-1 写真は加工して掲載しています



6-1 写真は加工して掲載しています



6-2 写真は加工して掲載しています



「人を憂える」と書いて「優」（やさしい）と読みます。今から76年前にあった本当の話に思いを馳せると当時の人々の悲しみやつらさに出会います。生きたくても生きることができなかった人たち、守りたくても守ることができなかった尊い命。いかなる理由があろうとも人が人を殺し、傷つけることはまちがいののです。「あ～、つらかったろうな。痛かったろうな。熱かったろうな。悲しかったろうな。」

人を憂える気持ちになったとき、人はまた一つ優しくなることができます。同時に、決して自分は人を傷つける側の人間にはならないということを決意できる「強い」人間になることができます。

戦争の恐ろしさ、戦争の惨さを体験として語ってくれる方は年々少なくなっています。だからこそ、このことを学んだ私たち一人一人が「伝え人」として語り継いでいかなければなりま

せん。

暑い夏が来るたび、私たちは人として、また一つ「優しく・強く」なるために学び続けたいと思います。



体育館の床面の貼り替え工事が始まりました。ずいぶん前から体育館の床面が大きくわん曲し、安全性を懸念していました。念願の要求がやっと実現されます。ありがたいことです。しばらくは体育館を使用することができません。また、北門からの出入りにはご不便をおかけいたします。夏季休業中においていただきます際は、南門にまわっていただきますようお願いいたします。
